

剣 道

- | | |
|-------|--|
| 1 期 日 | 7月27・28日
27日 8:00検量 8:30開館 9:00監督会議 9:30開始式 10:00競技開始(女子個人・男子団体)
28日 " " " " 9:50競技開始(男子個人・女子団体) |
| 2 会 場 | 県立総合体育館 |
- 3 参加制限 (1) 団体戦：学校単位で編成された郡市代表チームとする。
・監督1名、男女とも選手5名・補員2名以内とする。
(4名のときは次鋒、3名のときは次鋒・副将を空ける。)
- (2) 個人戦：郡市代表とし、男女とも団体代表枠×4名以内とする。(補員は認めない)
- (3) 監督は、出場校の教職員で学校2名までとする。(団体戦1名・個人戦1名)
- (4) 外部コーチの選手席入りを認める。ただし大分県中体連に登録している者とし、学校2名までとする。
(団体戦1名・個人戦1名) また、選手席入りは2校にまたがることはできない。(個人戦については可とする)
- 4 競技規則 (1) 試合・審判規則は「全日本剣道連盟剣道試合規則及び審判規則」「日本中体連剣道専門部申し合わせ事項」による。(審判員の服装は、全剣連に準ずる。)
- (2) 団体戦予選リーグの試合時間は3分、3本勝負、延長は行わない。
・団体戦決勝トーナメントの試合時間は3分、3本勝負、延長2分1回。但し、チームの勝敗が決した後は延長は行わない。
・個人戦は試合時間は3分、3本勝負、延長は時間を区切らず、勝敗の決するまで行う。
- 5 競技方法 (1) 団体戦：競技はすべて郡市代表による学校対抗とし、予選リーグを行い、各リーグの勝者によるトーナメント方式で行う。(シード制を採用する)
- 予選リーグ
- ・3分間3本勝負。勝敗が決しないときは引き分けとする。
 - ・得点は勝ちチームが1点、引き分けは0.5点、負けチームは0点とし得点・チーム勝数・勝者数・得本数の順で勝敗を決する。
(3すくみになった場合) 任意の代表による代表者戦を3分間3本勝負 引き分け (負け残り)
(上位2チームが同数の場合) 任意の代表による代表者戦を3分間1本勝負 勝敗が決するまで延長を行う。(時間は刻まない)
- 決勝トーナメント
- ・3分間3本勝負、延長2分間を1回行い、勝敗が決しないときは、引き分けとする。但し、団体の勝敗が決した後は延長を行わない。
(勝者チームが決しない場合)任意の代表による代表者戦を1本勝負で行い、勝敗の決するまで行う。(時間は刻まない)
- (2) 個人戦：トーナメント方式で行う。3分間3本勝負。勝敗が決しないときは、延長は勝敗の決するまで行う。(時間は刻まない)
- 6 備 考 (1) 竹刀は全日本剣道連盟規約の中学生用とし、検量は2日間とも実施する。
(長さ114cm以内、剣先太さ25mm以上、重さ男子440g・女子400g以上)
検印のない竹刀、不正竹刀を使用した場合は失格となる。
- (2) 名札(右図、例)を必ずつける。(道場名のものは認めない) 黒布に白文字とし判読しやすい字体とする。白防具のときは白布に黒文字も可とする。
(不備の場合は失格とする)
- (3) ブラック面やつか皮の滑り止めは、禁止とする。
- (4) 面の乳皮は、黒または紺とする。(不備の場合は、失格とする)
- (5) 申し込み後のオーダーの変更は認めない。(不慮の事故の場合を除く)
- (6) 各チーム、赤・白の目印各5本用意のこと。(長さ70cm 巾5cm)
- (7) 審判は、剣道連盟審判員、中学校教師(引率教師を含む)が行う。
- (8) 監督・外部コーチは上が白、下がグレーを基調とした服装とする。
- (9) 監督・外部コーチはIDカードを身につける。
- (10) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。
- (11) 九州大会への出場資格は、男女とも団体優勝・準優勝校及び、個人各1～4位の者に与える。
また、本年度は開催県に伴い、団体においては3位決定戦を行い開催校を決定する。
- (12) 全国大会出場資格は、団体男女とも団体優勝校及び個人1位、2位の者に与える。

(例)

○ ○ 中

近
藤
真